「省エネルギーセンター」ダウンロードファイル（無断転載、翻訳を禁ず）

対　策　分　析　シ　ー　ト

対策メニュー名	LED 照明の導入	シート番号	A21031
システム・設備	照明設備	6 類型	設備導入
削減余地順位	全体：3 位　産業部門：10 位　業務部門：3 位		

診断結果と対策提案実施の状況（診断結果は H28～R2 年度診断分、提案実施状況は H28～H31 年度診断分）

表 1．診断結果（対策の削減余地・診断時の提案率）　　▶ 削減余地の大きい 5 業種（診断件数 20 以上）

	全体	産業部門	業務部門	85 社会保険等の事業	81 学校教育	76 飲食店	60 その他小売業	83 医療業
削減余地 [千 t-CO_2]	4,524	818	3,707	407	362	324	258	245
診断件数	3,303	1,216	2,087	484	56	46	33	179
診断時提案数	3,130	952	2,178	500	73	42	34	167
診断時提案率	95[%]	78[%]	104[%]	103[%]	130[%]	91[%]	103[%]	93[%]

表 2．対策提案の実施状況

	全体	産業部門	業務部門	85 社会保険等の事業	81 学校教育	76 飲食店	60 その他小売業	83 医療業
事業報告書提案数	2,779	828	1,951	452	54	39	33	152
事業報告書実施数	1,015	326	689	173	15	5	11	71
事業報告書実施率	37[%]	39[%]	35[%]	38[%]	28[%]	13[%]	33[%]	47[%]

表 3．実施された対策の内容

	項目		最大値	中央値	最小値	平均値
提案・実施内容	CO_2 削減量	[t-CO_2/年]	688.1	14.1	0.10	25.4
	導入コスト	[千円]	153,440	4,427	22	8,243
	運転コスト削減	[千円/年]	20,707.9	523.9	3.2	911.0
	投資回収年数	[年]	90.0	8.7	0.2	11.9
	事業所 CO_2 削減割合	[%]	47.4	3.9	0.000	6.1

表 4．提案された対策の実施理由・未実施理由

実施理由	初期費用が安かったため	45	実施理由の半数が「省エネ効果の根拠が明確で確実性があるため」で「補助金を活用できたため」が理由の 1/4 となっている。
	補助金を活用できたため	247	
	投資回収年数が短いため	58	
	省エネ効果の根拠が明確で確実性があるため	500	
	その他　（無回答を含まず）	103	
未実施理由	初期費用が高かったため	86	（初期費用、補助金、投資回収年数の）費用に関するものが半数となっている。 「既存設備がまだ使えたため」は 3 割弱となっている。
	提案された設備の機能や運用に懸念	1	
	補助金を活用できなかったため	22	
	投資回収年数が長かったため	48	
	省エネ効果の根拠が不明で確実性がなかったため	6	
	既存設備がまだ使えたため	87	
	対策実施により事業所の操業に影響が生じるため	5	
	その他　（無回答を含まず）	60	

表 5．同時に実施されることが多い対策

同時実施の順位	メニュー番号	対策メニュー名	同じ大分類
1	11135	高効率パッケージエアコンの導入（老朽化更新を含む）	
2	11316	冷暖房設定温度・湿度の緩和	
3	21011	不要箇所・不要時間帯の消灯	○
4	21022	照明制御機能（タイマー、センサー等）の追加	○

※ 特記事項

実施された対策について（表 3）

(1) CO_2 削減量 100[t-CO_2/年]以上は 27 件で、提案通り実施した最大事例は、従来型の水銀灯、蛍光灯 761 灯を LED 化することで 518[t-CO_2/年]の削減、投資 71 百万円、投資回収年数 3.4 年で事業所 CO_2 削減割合は 28.6[%]と大きい。

(2) 導入コスト 50 百万円以上は 17 件で最大例はビル全 9 Floor 分の照明 LED 化。

(3) 投資回収年数 50 年以上は 19 件あるが最大事例は誘導灯 25 台を LED 化で投資コスト 60 万円の小型案件。

「省エネルギーセンター」ダウンロードファイル（無断転載、翻訳を禁ず）

対　策　分　析　シ　ー　ト

(4)　事業所 CO_2 削減割合 30[%]以上は 15 件で、最大事例は電力量の 70[%]を照明が占める物流センターでの老朽灯の LED 化。